

## ◆防災対策

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、さらには南海トラフ地震・首都直下地震などの大規模地震の発生も切迫しています。小樽開発建設部では、地域の防災力の向上を図るとともに、災害発生時によりきめ細やかな地域支援を行うため、関係機関、地方公共団体等と緊密に連携した様々な取組を行っています。

### 災害時の主な支援(TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊))

#### 1. リエゾン(現地情報連絡員)の派遣

重大な災害が発生し、又は発生のおそれがある場合に地方公共団体等に派遣し、災害情報や北海道開発局への支援要望等の情報収集、災害情報の提供、災害対策用機械などの支援物資に関する連絡調整を行います。



#### 2. 被災状況調査等

被災状況の把握や被災地等の早期復旧のための技術的支援など、被災地方自治体の支援を迅速に実施します。

令和元年東日本台風では宮城県丸森町で被災状況調査や給水支援等を行ったほか、令和2年7月豪雨においても、熊本県芦北町で被災状況調査を行いました。



#### 3. 災害対策用機械

災害時に北海道開発局が保有する各種機械・機材を速やかに出動させ、被害の軽減を図ります。

## ◆管内の概況

### ▼位置・気候

小樽開発建設部が管轄する後志は、北海道の南西部に位置し、北と西は日本海に面し、東は大都市札幌、南部は渡島半島に接しています。気候は、春から夏にかけて温暖で晴天の日が多く、過ごしやすい地域ですが、秋から冬にかけては北西の季節風の影響を受け、風雪が強く、特に羊蹄山麓は道内屈指の豪雪地帯です。

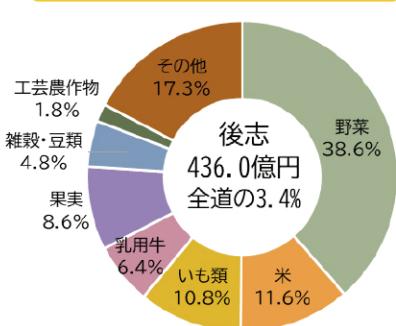
### ▼後志の『食』

管内の農業は、水稻、畑作物をはじめ、野菜、果樹、酪農など幅広い分野の生産が行われ、「北海道農業の縮図」と呼ばれるほど、農家の経営形態は多岐にわたっています。また、近年は醸造用ブドウの作付けが増加しており、令和6年2月現在28のワイナリーが開設されています。管内の漁業は、かつてはニシン、現在はナマコ、ウニ、ホッケ等の漁獲に支えられています。また、安定した資源の維持増大を図るため、サケをはじめとする種苗放流により作り育てる漁業の取組が進められています。

### ▼後志の『観光』

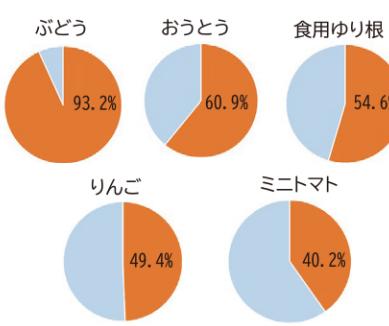
管内は、国内外から年間1,540万人余り(観光入込客数)の観光客が訪れる北海道を代表する観光エリアです。世界有数のスキーリゾート地であるニセコエリアを中心に、オーストラリアやアジア圏からの多くの宿泊客で賑わいます。それに伴い、ニセコエリアには大手外資系ホテルの新規参入が続き、後志の世界的な観光地化への動きが活発になっています。

#### ●後志の農業産出額の内訳



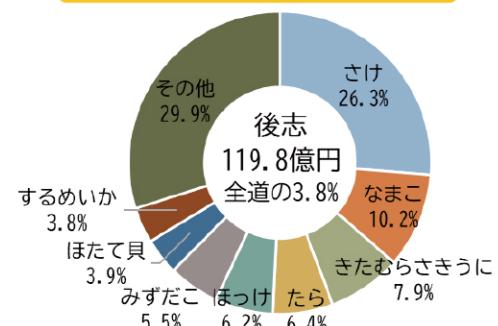
出典：令和2年度市町村別農業算出額（農林水産省）

#### 作付け面積道内1位の農作物



出典：後志の農業2023

#### ●後志の漁業生産高魚種別構成



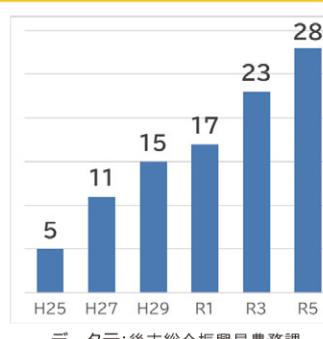
出典：令和4年北海道水産現勢（北海道水産林務部）

#### ●後志の醸造用ぶどう栽培面積



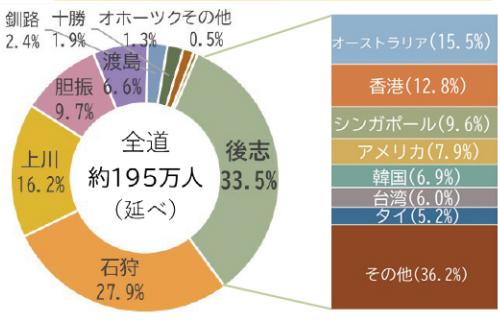
データ元：後志総合振興局農務課

#### ●後志のワイナリーの軒数



データ元：後志総合振興局農務課

#### ●訪日外国人宿泊客数（延べ人数）



出典：令和4年度北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）